



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
 コード番号 7792 URL https://colantotte.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小松 克己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 森田 仁 TEL 06 (6258) 7350
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,716	—	568	—	558	—	376	—
2020年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	47.03	—
2020年9月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2020年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年9月期第3四半期の数値及び2021年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は2021年6月30日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
3. 当社は2021年2月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	2,596	1,262	48.6
2020年9月期	2,323	886	38.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 1,262百万円 2020年9月期 886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,523	22.1	622	23.4	602	22.9	408	25.6	49.82

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2021年2月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2021年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 2021年9月期（予想）の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2021年7月7日に払込の公募増資600,000株及び2021年8月6日に払込のオーバーアロットメントによる第三者割当増資の322,500株を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	8,000,000株	2020年9月期	8,000,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	－株	2020年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	8,000,000株	2020年9月期3Q	8,000,000株

(注) 当社は、2021年2月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言解除後、段階的な経済活動の再開とともに景気回復の兆しも見られましたが、新規感染者数の増加により緊急事態宣言が再発出される等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社の営んでいる事業につきましても、外出自粛による消費活動の鈍化、入国制限によるインバウンド購買の消滅、更に当社の強いスポーツ市場における活動制限など厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、「本気の実現」という経営理念のもと、社会的課題である「生活の質」=QOL (Quality Of Life) の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間におきましては、新製品の積極的な市場投入と当社の強みであるギフト需要(母の日、父の日)への施策が、売上の増加に大きく貢献いたしました。また、販促活動として、新聞、雑誌、SNSなどの媒体を活用し新製品の紹介やマーケティング活動の強化に取り組みました。さらに5月24日～6月22日の間テレビCMを集中的に投下してブランドの認知向上策を実施いたしました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、国内卸販売は引き続き重要取引先に対して様々な施策を行うキー・アカウント・マネジメント(重要取引先管理)による販売強化に努めました。その結果、スポーツ量販業態及びインターネットやテレビ、ラジオ等の通販業態との取引が好調に推移いたしました。海外卸販売は、主要取引先国の政情不安やコロナ禍の影響による市場の冷え込みが依然続いており厳しい結果となりました。一方、2021年1月に出店しました中国のTmallでの越境ECが好調に推移した結果、売上高は2,163,328千円となりました。

リテール部門につきましては、緊急事態宣言により一部の店舗が休業又は時短営業となり集客が厳しい状況でありましたが、緊急事態宣言の解除後はテレビCM効果と父の日の需要の時期とも重なって客数は急速に回復し、売上高は207,980千円となりました。

イーコマース部門につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛状況によって生まれた「巣ごもり消費」現象がニューノーマルとして定着してきたことに加え、5月24日～6月22日に実施したテレビCM等のマーケティング活動の効果による認知度の向上と母の日、父の日のギフト需要の増加により大幅に訪問客数とCV率(コンバージョン率の略で、サイトの最終目標であるコンバージョン(成約)の数を訪問数で割ったもの)が伸びたことで、売上高は345,163千円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大による影響があったものの、2,716,472千円となりました。利益面につきましては、以前より強化してきたイーコマース部門が好調に推移し、原価率の改善に大きく貢献したこと及び業務の効率化や徹底したコスト削減を図った結果、営業利益は568,067千円、経常利益は558,439千円、四半期純利益は376,244千円となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は1,752,607千円となり、前事業年度末と比較して270,563千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が140,721千円、電子記録債権が54,611千円、製品が64,459千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は843,601千円となり、前事業年度末と比較して2,197千円増加いたしました。これは主に、無形固定資産が18,374千円減少した一方、投資その他の資産が23,236千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の資産合計は2,596,208千円となり、前事業年度末と比較して272,761千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は1,021,410千円となり、前事業年度末と比較して23,833千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が250,000千円、1年内返済予定の長期借入金38,647千円、それぞれ減少した一方で、電子記録債務が109,171千円、未払法人税等が50,588千円、賞与引当金が19,696千円、返品調整引当金が24,798千円、その他流動負債が107,536千円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は312,519千円となり、前事業年度末と比較して127,317千円減少いたしました。これは主に、社債が22,500千円、長期借入金103,340千円、それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は1,333,930千円となり、前事業年度末と比較して103,483千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は1,262,278千円となり、前事業年度末に比べ376,244千円増加いたしました。

これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が376,244千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2021年7月8日に開示しました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,336	441,620
受取手形及び売掛金	360,759	501,480
電子記録債権	122,316	176,927
製品	306,502	370,961
仕掛品	87,424	114,848
原材料及び貯蔵品	76,092	101,178
その他	21,758	45,725
貸倒引当金	△145	△135
流動資産合計	1,482,044	1,752,607
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	350,279	352,567
土地	265,821	265,821
その他(純額)	43,077	38,125
有形固定資産合計	659,177	656,513
無形固定資産	92,757	74,383
投資その他の資産	89,467	112,704
固定資産合計	841,403	843,601
資産合計	2,323,447	2,596,208
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	—	109,171
買掛金	145,769	144,337
短期借入金	250,000	—
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	183,670	145,023
未払法人税等	76,713	127,302
賞与引当金	31,861	51,558
製品保証引当金	2,227	4,347
返品調整引当金	90,236	115,034
その他	182,099	289,635
流動負債合計	997,576	1,021,410
固定負債		
社債	202,500	180,000
長期借入金	232,124	128,784
リース債務	5,213	3,735
固定負債合計	439,837	312,519
負債合計	1,437,414	1,333,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	876,033	1,252,278
株主資本合計	886,033	1,262,278
純資産合計	886,033	1,262,278
負債純資産合計	2,323,447	2,596,208

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,716,472
売上原価	921,046
売上総利益	1,795,425
販売費及び一般管理費	1,227,358
営業利益	568,067
営業外収益	
受取利息	0
助成金収入	2,563
その他	602
営業外収益合計	3,166
営業外費用	
支払利息	2,420
売上割引	3,835
支払手数料	2,614
株式交付費	3,102
その他	822
営業外費用合計	12,794
経常利益	558,439
特別損失	
固定資産除却損	743
特別損失合計	743
税引前四半期純利益	557,695
法人税、住民税及び事業税	202,943
法人税等調整額	△21,493
法人税等合計	181,450
四半期純利益	376,244

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(公募による新株発行)

当社は、2021年7月8日付で東京証券取引所マザーズへ上場いたしました。当社は株式の上場にあたり、2021年6月4日及び2021年6月18日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議し、2021年7月7日に払込が完了しております。

- (1) 募集方法 一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
- (2) 発行する株式の種類及び数 普通株式600,000株
- (3) 発行価格 1株につき1,100円
- (4) 引受価額 1株につき1,012円
- (5) 資本組入額 1株につき506円
- (6) 発行価格の総額 660,000,000円
- (7) 引受価額の総額 607,200,000円
- (8) 資本組入額の総額 303,600,000円
- (9) 払込期日 2021年7月7日
- (10) 資金の使途 ①プロモーション費用、②EC取引拡大のためのマーケティング費用、③採用活動費及び人件費に全額を充当する予定であります。

(第三者割当による新株発行)

当社は株式の上場にあたり、2021年6月4日及び2021年6月18日開催の取締役会において、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、野村証券株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を次のとおり決議し、2021年8月6日に払込が完了しております。

- (1) 募集方法 第三者割当
- (2) 発行する株式の種類及び数 普通株式322,500株
- (3) 割当価格 上記「(公募による新株発行) (4) 引受価額」と同一であります。
- (4) 割当価格の総額 326,370,000円
- (5) 資本組入額の総額 163,185,000円
- (6) 払込期日 2021年8月6日
- (7) 割当先 野村証券株式会社
- (8) 資金の使途 上記「(公募による新株発行) (10) 資金の使途」と同一であります。